

平成24年7月第9回教育委員会定例会

【日 時】平成24年7月31日（火）午後1時30分～午後4時30分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第2・3会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・斎尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長・西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 齋尾委員、磯江委員を指名

2 行政報告

教育長

・6月28日・29日全国町村教育長研究大会について

※町村数の減、運営費がなくなり会費の増

※県教委協定書の指標の根拠について説明がない。

⇒市町村教育委員会の協力がないと指標の達成はできない。8月1日説明会開催

・7月6日町内小学校児童水泳大会の開催について

※2.5m泳げない子がいる。

・7月23日・30日臨時保育士面接試験の実施について

※中途入所の子ども増。職員不足。基準に基づくもの。

・7月27日文化財保護委員会・歴史民俗資料館運営委員会の開催について

※文化財保管資料の協議

①現地を確認する。

②県立博物館学芸員に相談する。（専門家の意見をうかがう。）

③適切な分類を行い、展示、保管等の作業を進める。

民具の保管等の判定は委員では困難。専門家に見てもらおう。

（委員）2.5m泳げないのは。

（教育長）小学校4年以上。こども園の水遊びからの積み上げが必要。

（委員長）海岸に近い子の水嫌が多い。小さいころからの積み重ね。

（教育長）プールの時期は限られている。大会を位置づけ。

（委員）放課後もやっているのか。

（教育長）やっている。

（委員）お風呂で頭から水をかけてやる。水を怖がらない。小さいころから慣れることが必要。

(委員) 何で泳げないのか探してもらおう。それから指導に役立ててもらおう。
(教育長) 保育教育課程をしっかりとやりとげて行く。
(委員) 夏休みに指導することはできないのか。
(教育長) やっている。
(委員) 保護者に投げかけてみる。投げ返してもらおう。話し合う。
(教育長) 生命にかかわることであり身につけさせたい。教育連絡会で話題を提供してみる。
(委員長) 協定についてそこからどうなるのか説明を求めたい。
(教育長) 県知事と県教委の協定。地教委は関係ない。しかし、学校は市町村である。
(委員長) 保育士のストックはないのか。
(教育長) ない。免許がない。ハローワークなどで募集するしかない。rんじ職員で何とかするしかない。止むなく免許がない方になってしまう。
(委員) 0歳児は看護師でもいいと聞いたことがあるが。
(教育長) 保育士、看護師を置いてほしいと要望がある。
(委員長) OBはいないか。
(教育長) パートで入っている。
(委員長) 歴文の問題は難しい。
(教育長) 今年度中には回答する方針。
(委員長) 専門家が見ても難しい。
(教育長) テーマを決めて保存するなど検討したい。とりあえず専門家に意見を伺い検討する。
(委員) 点数は把握されているか。
(教育長) 約5,000点。
(委員長) 難しいが進めて行く。

教育総務課長

- ・計画訪問の実施について
- ・学校行事について
- ・放課後児童クラブ保護者懇談会の開催について
- ・サマースクール～まなびの広場～の実施について
- ・工事等の発注について

(委員長) 放課後児童は申込制。審査・決定か。

(事務局) そうである。

(委員) 懇談会の苦情は。

(事務局) 行くまでに寄り道してしまう。保護者に説明して欲しい。指導者に対してこどもが汚い言葉を使う。学校から児童クラブまで通常くるが、来ない、遅れることがあるが、指導員は分からない。徹底をしてもらおう。施設から飛び

出してしまう子どもがいる。注意して見るが家庭でも注意してもらおう。約70人見ているがすべて見ることは難しい。

(委員長) 送迎は。

(事務局) 学校から児童クラブは自分たちで行く。帰りは家から迎えが来る。

(委員長) サマースクールのいきさき、図書館利用に注意を。

(委員) 放課後児童クラブの年齢構成は。

(事務局) 3年生まで。高学年はということにはならない。

生涯学習課長

- ・第25回すいか・ながいも健康マラソン大会について

- ・第58回東伯郡民体育大会について

- ・加藤廉兵衛土人形展並びに巡回展示館について

- ・青少年育成連絡会について

- ・町民運動会自治会説明会について

- ・北栄ゆら由良川くんだり説明会について

- ・第3回北栄てくてくウォークについて

- ・あいさつ通りモデル自治会認定式について

(委員長) 郡体は湯梨浜町に負けた。

(委員) あいさつ通り認定はどこでもいいのか。

(事務局) どこでもいい。曲、国坂、大島、下神。

3 議 事

議案第54号 準要保護児童生徒の認定について

(委員) 却下後の申請は受け付けるのか。

(事務局) 区切りとするもの。改めて申請があれば受ける。

原案のとおり承認。

議案第55号 区域外就学について

(委員) 6カ月の期間を見る。

(事務局) 12月中には面会をし結論としたい。

原案のとおり承認。

議案第56号 校区外就学について

(委員) 北条中4人、キャプテン、大栄中1人、平成25年度になったら分らないが最終学年となる。

原案のとおり承認。

4 協議事項

(1) 北栄町行政改革審議会委員の選出について

(委員) 行革審議委員の仕事は。

(事務局) 町行革プランについて町長から諮問がある。それを審議し答申する。

行・財政の効率化を話し合う。

(委員) 以前からやっているものか。

(事務局) 改めて組織し行うもの。

(委員) 夜間開催を希望したい。委員会で要望してもらおう。

※ 齋尾暁美委員を選出

(2) 教育委員会と学校との連携について

※ 滋賀県大津市のいじめ問題を受け、町内における教育委員会と学校との連携の確認とその方法等について協議。

(事務局) 学校・教員⇒教委(マスコミ)…県教委調査:教委から学校へ照会。

(学校)のいざこざ。他からの情報⇒委員会に直接いじめの報告があった。

保護者から直接あった。

(教育長) 県教委調査:いじめを防止する教育をしているか。⇒やっていない。

自殺を防止するための教育はやっている。

文部科学省のアンケート調査8月末までに実施。まだ文書は来ていない。夏休み中であり実質困難。

(委員長) いじめの定義は、本人がいじめを受けたと感じれば「いじめ」である。

(事務局) 常識的な線はどこなのか。

(教育長) すべてがいじめとなる。

(委員) 社会性のある子どもが育たない。育てられない。家庭と共有しながらやらなければならない。

(委員長) 自殺といじめの線引きを同じにしては話が出来ない。自殺の原因は何かを検証されるべき。

(委員) 町で同じことがあった場合の考え方、対応を整理しておくべき。

(委員長) 教育委員会ではわからない。現場の学校でしか知りえない。大津市教育委員の談話があるがあとから出るようでは駄目である。

(教育長) 学校で把握分析し教育委員会へ報告。疑問の穴埋め調査をし把握していく。

(委員) 教育委員会から学校へ聞くシステムに問題がある。教育委員会が現場に行くシステムが重要。学校が警戒するが、教育委員会が出向いて情報収集する、分析する。いじめに行くまでの未然防止、情報把握、共有しておくべきである。

(委員) 謝る勇気も必要。互いに認識し合う、気持がいいものではない。

(委員) あった時にすぐ声かけ対応をしている。

(委員) 小学校は目が届くが中学校は目が届かないのでは。

(委員長) 中学校は教科担任で目が変わって分かりやすい。

(教育長) 友達の仲が悪い。教員、こども通しが理解し合う。学校は、教育委員

会が遠い。報告、指導主事が聞き取りを行っている。

(委員長) 市部は計画訪問をしていないのが現状。定例会に校長を呼んで懇談会をするなどの方策があってもいい。

(教育長) 例として、教育連絡会への報告を行っている。月始め、毎月1回行っている。情報の提供はできる。

(委員) 情報が欲しい。

(教育長) 情報の共有はしている。校長が把握し保護者にも伝えている。

(委員長) 教育委員会の意見を校長会に伝えてもらう。教育連絡会と教育委員会が相互に連携する。教育連絡会への要望の項目を設ける。

(教育長) 特異な事例を報告する。

(委員長) 特定の事案があれば報告する。

(教育長) 町長との話し合いを実施する報告。テーマを決める。

(3) 平成24年度教育委員視察研修の日程について

※ 10月18日・19日実施

5 報告

・ALT (外国語指導助手) の来町について

・平成23年度教育委員会関係の決算に係る主要なる施策の成果について

(委員) やった結果がどうだったか。その結果、良い悪いを審議すべきもの。

(事務局) 教育行政評価で事業を見てもらっている。予算上の疑義についてを審査すべきもの。

・全国学力・学習状況調査の返却について

・同日公開参観日について

(委員) 保護者以外の方の人数把握、アンケート回収の把握は出来ているか。

(事務局) まだ出来ていない。

(委員長) 例年同じアンケートをしている。比較なりして意味のある調査として欲しい。年、月で比較するようにしてほしい。

・計画訪問について

(委員) 学力向上について、中学校の報告書の修正はしてあるのか。

(事務局) 教育連絡会で伝える。

(委員) 校長、教頭が読んで修正したものをもう一度読む。分析に対しての取り組みが整合していない。

(事務局) なおして授業改善していく。

(委員) 懇談会のための資料であればそれでいい。北条中の全教科の資料の修正を。

6 その他

・平成24年度鳥取県市町村教育委員会研修会について

・次回教育委員会 定例会 8月27日(月) 午前10時00分から